

1面からのつづき

IV 外国人善行表彰

(岩手) 陸 彦彦(アメリカ) プライアン・ロツホマン、ジョシユアD・チルダース、二〇一八横田基地教会チーム、第三七四通信中隊、エリック・S・アンドラーデ、カズヒト・イケマツ、エリック・ウォーナー、関東地区消防士協会二〇一八、第三七四契約中隊バイヤーズクラブ、デイビッド・アンソニー、シャワーズ、ベロニカ・N・シユワブーティッド、ウエル、カリナ・ソトマイヨール、ダリス・C・レン、第三七四運用支援中隊キー・スパウセス

その結果、栄えある受賞者として、善行金章受賞者三十五名と善行銀章受賞者八十三名を決定した。なお、表彰式は、来る五月十八日(土)、明治神宮参集殿において行われる予定である。(敬称略)

◇善行金章(三十五名)

(北海道) 井戸正晴、今野三郎(青森県) 高森キクエ、板垣キミ(宮城県) 天満元昭、長谷川とみ志(福島県) 後藤幸子(群馬県) 川野 浩、珍田勇二、本多正平、福嶋和江、大谷千恵子、真田愛子、関口和子(東京都) 山本又三(神奈川県) 筒井 進(静岡県) 青木 昭(愛知県) 宮道三江(滋賀県) 明石祐暁(京都府) 高井 武、高垣慶嗣(大阪府) 川崎 屯(兵庫県) 八木 妙子、山本泰通、堀佐知子、瀬川昌子(山口県) 小林利生(香川県) 平田幸代(福岡県) 古屋啓二郎、田中勝義(長崎県) 金子光彦、西川卓志(熊本県) 杉内錬之、林田伸一(大分県) 帆玉澄子

二、特別善行表彰 選考委員会

一般社団法人日本善行会は、三月十一日(月)、グランドヒル市ヶ谷会議室において、平成三十一年度特別表彰善行金章・善行銀章受賞者の選考委員会を開催した。

選考委員会では、本会の各支部をはじめ多くの推薦機関から推薦された候補者について、善行継続年数や善行銀章、善行(銅)章受賞後の善行活動の状況について慎重に審査を行った。

◇善行銀章(八十三名)

(北海道) 鬼塚弘子、不破一比古、橋本 稔、藤田礼三、本吉春雄(青森県) 松岡くに子、久保りつ、工藤ノリ(岩手県) 三浦

得也、高橋睦夫、山下力夫、中澤ムツ子(宮城県) 船渡代志子、小池重治(山形県) 遠藤 勉(福島県) 金山充子(茨城県) 飯屋 茂、石川誠人(栃木県) 小野澤喜美、上野多津子、仁戸部照夫(群馬県) 廣瀬雅敏、堀口克巳、櫻井裕子、小菅 正、南雲春一、木村勝江、押江真知子、萩原スミエ、鈴木千明、松本八千代、森田房子、今井彰子、初山芳江、初山多恵子(千葉県) 江畑キヨ子、楠岡 巖、高遠佳美、飯沼麗子(東京都) 内田耕正、山田きみ子、増田義雄、古山昭男、長沼茂雄、大熊邦子、岩城堅司、竹内菊雄(神奈川県) 川浦恭子、谷島義雄(石川県) 鈴木哲夫(岐阜県) 真弓美紀子(愛知県) 新美三枝、成瀬幸夫(滋賀県) 篠田常生(京都府) 寺村貞之(大阪府) 赤塚勝巳、東 博祐、小林良子(兵庫県) 山西 博、松田与志子、島村哲哉、金岡 清、高階功子、芝 和子(岡山県) 河田純雄(香川県) 大森岳司、大西専七(愛媛県) 井堀春清(福岡県) 山崎源太郎、後藤清忠、大木明子、宮本千穂子、野口幹矢、中嶋俊子、綱脇恒巳、本田光男、高橋 宏(長崎県) 今井 薫、濱武 睦、外間雅広(熊本県) 山本文市、金子雄子(鹿児島県) 飯草健太郎

対談

スーパーボランティア尾島 春夫 さん
山下純雲子副会長
二回目(三回連載)

《ボランティアは自己責任・自給自足、迷惑をかけないが鉄則!》

鉄則!

山下: 尾島さんのボランティア活動は、多岐にわたっており、敬服します。人間の生き方として魅力、ボランティア魂の素晴らしさを感じています。

《やつと夢や希望が持てるように》
「姉の一言で、人生の目標が見つかった!」

山下: 壮絶な幼少青年期を過ごした尾島さんに、いよいよ転機が訪れたそうですね。

尾島: ボランティア活動は、被災地の方々に迷惑をかける心配が大切です。無償の愛、対価は求めない、頂くのは心です。ボランティア先では、何も求めないのが鉄則!

尾島: 中学を卒業すると姉から「あんたは元気がいいから魚屋さんになりなさい」と言う姉に従い、鮮魚店で十年間修行後、鮮魚店開業の資金を貯めるため三年間土木会社でがむしゃらに働きました。一九六三年四月に結婚七か月後に念願の鮮魚店「魚春」を開店して、やつと窮地から脱しました。地域の皆さんのお蔭さんで赤字を出すことなく順調に営業しましたが、店は六十五歳を機に閉店しました。

山下: 二歳児行方不明の時、尾島さんは何処にいましたか?
尾島: 自宅でテレビを見て知りました。二日目の捜索でも見つからず、心配するだけでなく行動せねばと、現地向かいました。捜索する前に家族の方と会い「きつと見つけて直接お渡しします」と約束して、真つ先に裏山へ登りました。三十分後、これまでの経験と勘で理稀ちゃんを発見しました。

尾島: 沢の近くで水が流れ、平たい石の上に座り、足は素足で水につけ、一瞬「お地蔵さん」に見えました。近づくと瞬きをしたので、理稀ちゃん! と声をかけると「うん」と応えました。早速、自宅から持ってきたバスタオルで保護し、塩飴を与えると「ガリ、ガリ」と音を立ててかみ砕き食べました。三日間、何も食べてない理稀ちゃん、この食べっぷりを見て「この子は生きるな」と安心しました。

《かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め》
「東日本大震災・南三陸町で500日のボランティア活動」

山下: 尾島さんのボランティア活動は、多岐にわたっており、敬服します。人間の生き方として魅力、ボランティア魂の素晴らしさを感じています。

尾島: 親に直接引き渡すと約束、これまでの経験値で発見!

山下: 二歳児行方不明の時、尾島さんは何処にいましたか?
尾島: 自宅でテレビを見て知りました。二日目の捜索でも見つからず、心配するだけでなく行動せねばと、現地向かいました。捜索する前に家族の方と会い「きつと見つけて直接お渡しします」と約束して、真つ先に裏山へ登りました。三十分後、これまでの経験と勘で理稀ちゃんを発見しました。

尾島: 沢の近くで水が流れ、平たい石の上に座り、足は素足で水につけ、一瞬「お地蔵さん」に見えました。近づくと瞬きをしたので、理稀ちゃん! と声をかけると「うん」と応えました。早速、自宅から持ってきたバスタオルで保護し、塩飴を与えると「ガリ、ガリ」と音を立ててかみ砕き食べました。三日間、何も食べてない理稀ちゃん、この食べっぷりを見て「この子は生きるな」と安心しました。

《かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め》
「東日本大震災・南三陸町で500日のボランティア活動」



山下純雲子副会長(左)と尾島春夫さん(右)の対談の様子。

山下: 二歳児行方不明の時、尾島さんは何処にいましたか?
尾島: 自宅でテレビを見て知りました。二日目の捜索でも見つからず、心配するだけでなく行動せねばと、現地向かいました。捜索する前に家族の方と会い「きつと見つけて直接お渡しします」と約束して、真つ先に裏山へ登りました。三十分後、これまでの経験と勘で理稀ちゃんを発見しました。

尾島: 沢の近くで水が流れ、平たい石の上に座り、足は素足で水につけ、一瞬「お地蔵さん」に見えました。近づくと瞬きをしたので、理稀ちゃん! と声をかけると「うん」と応えました。早速、自宅から持ってきたバスタオルで保護し、塩飴を与えると「ガリ、ガリ」と音を立ててかみ砕き食べました。三日間、何も食べてない理稀ちゃん、この食べっぷりを見て「この子は生きるな」と安心しました。

《かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め》
「東日本大震災・南三陸町で500日のボランティア活動」